

2種のDry powder type inhalerによる 吸入ステロイド剤吸入時の気道感染

西澤 芳 男

西沢クリニック

【目的】 今日、我国では2種の粉末型ICSが用いられている。即ち、BUDとFPである。

この両者を使用時、呼吸器系感染症罹患率に関し比較検討した。

【方法】 Informed consent後、患者からの了解をえ、有意差の認められない一日用量の両剤BUD（A群）FP（B群）の吸入施行下、各種の細菌、真菌の検鏡及び培養、ウイルス抗体価有意上昇生体防禦機能変化を検討した。

【結果】 両群背景因子に何ら有意差はなくA群はB群に比較し有意に①細菌・真菌感染罹患及び、②ウイルス罹患率は低く、③発熱、咽頭痛など感染に伴う症例は少なく、生体防禦機能は有意に保たれていた。

【考察】 FP吸入時、肺局所の免疫機能が低下することは以前報告したと同じであった。これに加えFP剤の乳糖添加に基づくpHの変化により病原体が気道に附着しやすくなることが、FP使用群でBUD使用群に比較し気道感染頻度が高率化した可能性などが考えられた。